

# 一般質問

市政全般にわたり18人の議員が質問しました。



## 家庭系可燃ごみ有料化の前に 事業系ごみの抑制強化を

加藤 陽子 議員《会派に属さない議員》

完成した新焼却炉の来年度の計画年間処理量は、基準年の30%削減を目標にした6万5776トンですが、昨年度の3市の搬入量は7万4477・1トンで、さらなる資源化、減量化が必要です。この10年間、微減増はありながらも搬入量の横ばいが続いているのは、家庭系可燃ごみが30%の削減目標に達していないものの減少が続いているのに対し、事業系ごみが増え続けているためです。海老名市では家庭系可燃ごみの有料化を決定しましたが、事業系ごみへの対策強化が必要です。

本市の減量化等計画書の提出義務がある多量排出者の基準は、資源物もあわせて月10トン以上、年120トン以上です。しかし、県内他市では、月に3トン以下が15市中13市、15市の平均は2.52トンです。本市の多量排出者の基準をより少ない設定にして報告書提出事業を増やすことや、訪問調査対象の事業所を増やし、改善策を求めることが必要ですが、見解を伺います。



## 就学援助のクラブ活動費、 生徒会費、PTA会費の支給を

守谷 浩一 議員《日本共産党》

就学援助制度は、義務教育を無償とした憲法第26条を裏質化するもので、教育基本法、学校教育法に定められた権利です。文部科学省による就学援助実施状況等調査結果の「標準保護の就学援助費目の状況」によると、2016年度調査対象の1767自治体のうち、クラブ活動費は19.4%、生徒会費は22.4%、PTA会費は24.6%の自治体で就学援助費として支給されています。本市においても、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費を就学援助費として標準保護児童・生徒に対して支給すべきと考えますが、それぞれどのような見解なのでしょう。

平成30年度における標準保護児童・生徒の人数で試算すると、概算でクラブ活動費は189万円、生徒会費は30万2400円、PTA会費は187万9500円、合計で407万1900円です。



## 危機管理体制の拡充を

吉田 義人 議員《自民党・いさま》

現在、本市が災害時相互応援協定を締結しているのは、国内友好交流都市である秋田県大仙市と福島県須賀川市です。首都直下型地震や南海トラフ巨大地震の発生が心配される中、今後このような甚大な被害をもたらす巨大地震が首都圏で発生した場合、大仙市と須賀川市は東北地方に位置していることから、首都圏を越えての物資の輸送や人的な応援体制に支障が出るのが予想されます。また、季節が冬の場合には、協定の締結市が豪雪地帯であることも考えなければなりません。

震災時等の危機管理体制を強化し、市民の安全安心をより一層担保するには、災害時相互応援協定を東北地方以外の自治体にも広げて検討することが必要ではないかと思いますが、当局の見解を伺います。



中澤 邦雄 議員《日本共産党》

## キャンプ座間内の 火災について

キャンプ座間内相模原市域の基地管理本部の複数の事務所が入居している建物で火災が発生しました。発生日は11月16日で、本市消防署に応援要請があり、消火に当たり、被害状況は、負傷者はなく、建物の損傷があったとのこと

所が入居している相模原市域にある建物で発生したとのこと、在日米陸軍基地管理本部から、相模原市域分ではあります。火災発生現場により近い距離に所在する本市消防署に応援要請があり、すぐに出動し消火活動に当たりました。火災の発生原因や再発防止策については、防衛省から続報はまだありませんが、今後も情報提供を求めています。基地の内外を問わず、火災発生という緊急な対応が必要な事態に対し、日ごろからの連携がある中で、本市消防の機敏で柔軟な対応が功を奏し、消火活動が速やかに行われたものと思っております。



竹田 陽介 議員《自民党・いさま》

## 都市計画道路広野大塚線の 陳情提出は大きな変換点

都市計画道路広野大塚線の一划も早い整備を強く求める陳情が、都市計画道路の一部区間の栗原東部地区に土地を所有する方とその関係者から提出されたことを、市としてどのように受けとめているのか伺います。また、陳情では、事業可能な区間からの先行事業化並びに沿道のまちづくり計画の立案を含めた事業実施が要望されていますが、どのような方針、姿勢で事業に取り組んでいくのか、現時点での考えをお示しく下さい。

おり、県が主体となり、関係する市とともに事業化に向けた課題を整理し、その解決を図ることを目的とした勉強会を継続的に開催しています。陳情が提出されたことは、社会経済情勢の変化、地域環境の変化により本路線整備の上での大きな変換点になるものと重く受けとめています。

都市部長 栗原東部地域の地域別構想については、現状の土地利用構想を基本としていますが、将来的に都市計画道路広野大塚線の事業化により大きく土地利用の変化が見込まれる場合は、沿道のまちづくり方針等について検討を行います。



高波 貴志 議員《自民党・いさま》

## 本市と台湾との 友好交流について

かつて座間の地にあった高座海軍工廠で働いていた元台湾少年工でつくる台湾高座会の方々が本市を尊敬され、その跡地である芹沢公園に建立された顕彰碑の除幕式が執り行われました。このことは、さらなる日台友好につながり、高座海軍工廠と台湾少年工の存在、今もこの地に残る地下ごうをしっかりと後世に残し、伝えていかなければなりません。今後、双方の若い世代も加わり、交流をさらに深めてほしいと願っています。本市と台湾がさらに交流を図り、友好を深め、将来、姉妹都市や友好交流都市協定の締結に向けて、検討すべきだと思います。

市長の見解を伺います。市長 台湾の特定の都市と本市との友好交流関係ではなく、より広い意味での深い交流が必要だと思えます。どのようにこれから後世に伝えていけるのかということは、広く考えていくべき大きなテーマだと思っております。

第二のふるさとと感じていただいている台湾少年工の方々がおり、次の世代に台湾高座会も引き継がれていきます。我々もそれを受けとめながら、末永い交流をどのようにしていくのか、考えを深めていき、また、芹沢の地域住民の方々との温かい気持ちにも応えていきたいと思っております。

## 会議録をご覧ください

座間市議会だよりでは、各議員の文責により質問・答弁・討論の発言の一部を抜粋して掲載しています。詳細は会議録をご覧ください。パソコンやスマートフォンから市議会のホームページでご覧いただけます。また、市役所1階の市民情報コーナー、図書館でもご覧いただけます。なお、12月定例会の会議録は2月下旬ごろから閲覧できます。